

としょかん つうしん

通巻38号

(平成19年4月)

編集・発行 印西市立大森図書館

図書館ホームページ

・パソコン から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・i-mode から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

春は引越しの季節です！

引越しなどで住所や電話番号が変更となる方は、必ず図書館にある「変更届」に記入して提出して下さい。

また、遠方に引っ越されるなどで、今後印西の図書館を利用されない場合には、「としょかんカード」を窓口にご提出下さい。また、図書館で借りた本などの返却もお忘れにならないようにお願いします。

借りられた資料は、印西市立図書館4館どこへ返しても結構です(ただし、複製絵画は大森図書館までご返却ください)。

図書館の閉館時にはブックポストをご利用ください(ただし、CD・ビデオ・DVDなどの視聴覚資料や紙芝居は破損する恐れがありますので、開館時に直接カウンターまでお持ちください)。



おはなし会においでよ！



図書館では定期的におはなし会を行っています。

暖かくなってきましたので、お散歩の途中など、お気軽にお立ち寄り下さい。

大森図書館	第2・4土曜日	午後3時～	おはなし室
小林図書館	第4土曜日	午後3時～	遊戯室
そうふけ図書館	第1～4土曜日	午後3時～	おはなしのへや
小倉台図書館	第1・3木曜日	午後3時半～	おはなし室

おはなし会は3歳～小学校低学年位のお子さんを対象にしていますが、保護者の方やご兄弟の方も一緒にどうぞ。

図書館・これからの催し

知っていますか？

「こどもの読書週間」と「子ども読書の日」



近年、子どもたちの活字離れや国語力の低下などが話題になっていますが、読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。このように子どもの読書活動の重要性をかんがみ、さまざまな取組みが注目されるようになってきました。

法律により毎年4月23日は「子ども読書の日」と定められました。これは国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられたものです。

また、こどもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的として、1959年（昭和34年）から社団法人読書推進運動協議会が毎年4月23日から5月12日までの3週間を「こどもの読書週間」と定めています。

図書館でも、このような取組みにあわせて、さまざまな催しを予定しています。これを機会に是非「本を読む」ことの楽しさやすばらしさを再発見してみませんか？

〔大森図書館〕

4 / 1 ~ 5 / 1 2

児童特別展示

「子どもの本」(図書館の学校発行)に紹介されている本を展示しています。

4 / 2 2 (日)

春のおはなし会 何をするかは来てのおたのしみ！

〔小林図書館〕

4 / 2 4 ~ 5 / 1 2

図書館クイズ

図書館の本をつかって、クイズに挑戦しよう~！

〔そうふけ図書館〕

4 / 1 ~ 5 / 1 2

児童特別展示

「よい絵本」に紹介されている本を展示しています。お気に入りの絵本を探してみね。

〔小倉台図書館〕

4 / 2 4 ~ 4 / 2 9

図書館クイズ

図書館の本をつかって、クイズに挑戦しよう~！

詳細は各図書館までお問合せ下さい。

今年もやります！ **ブックリサイクル**



保存期限の切れた雑誌や図書、または寄贈本をさしあげます。

5 / 2 6 (土)・2 7 (日) 小倉台図書館 集会室にて

図書館からのお願い！

～ 本が泣いています！ ～

雑誌の写真がハサミで切り取られている...
専門書のいたるところに蛍光ペンでラインが引かれている...
コーヒーをこぼしたようなシミがついている...
犬に噛まれたような歯型がくっきりと表紙に残っている...

こんな図書館の資料の破損が実際にあります。
自分のものではなく、みんなで読んで使うもの
ですから、気持ち良く利用できるように、丁寧に
扱いましょう。破ったり、切り取ったり、書き込み
などをするのは絶対にやめてください！！



もし、破れてしまったりしても、テープなどで
直さずそのまま持ってきてください。修理は図書館にて行います。
ただし、状態によっては弁償していただくこともありますのでご注意ください。

人気の本(ベストリクエスト)

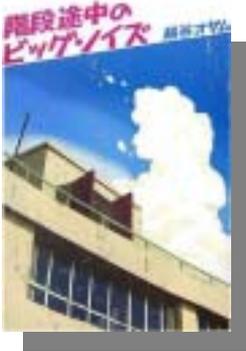
(平成19年3月30日現在)

名もなき毒 (宮部みゆき/著)
東京タワー (リリー・フランキー/著)
陰日向に咲く (劇団ひとり/著)
使命と魂のリミット (東野圭吾/著)
一瞬の風になれ ~ (佐藤多佳子/著)
赤い指 (東野圭吾/著)
鏡の法則 (野口嘉則/著)
最愛 (真保裕一/著)
手紙 (東野圭吾/著)
風が強く吹いている (三浦しをん/著)

宮部みゆきさん
人気衰えず！
東野圭吾作品も
大人気！

この本、
おすすめですよ！

4月は入学式シーズンですね。
ということで今回は、不安と期待の気持ちでいっぱい
の新生達におすすめの、学校を舞台にした小説を紹介
します。
とっくの昔に卒業されてしまったみなさまは、この本
を読んで学生当時を懐かしんでいただければと思いま
す。



「階段途中のビッグ・ノイズ」 越谷オサム / 著 (幻冬舎)

部員3人中上級生の2人が覚せい剤の取引をしていたということで退学になり、県立大宮本田高校軽音楽部の存続が危ぶまれた。しかし、残った1人である神山啓人とクラスメイトの伸太郎は部活再建に向け、文化祭のミュージックイベントである「田高マニア」に参加できるように活動を開始する…。学園ものの王道といてもいいストーリーです。友情とサークル活動の危機と音楽と…。いや～、青春していますねえ。気恥ずかしくもホロリとさせてくれる作品です。

「夜のピクニック」 恩田陸 / 著 (新潮社)

第2回本屋大賞受賞作品。これは、登場人物たちが通う高校で行われる「歩行祭」というイベントでの様子を描いた話で、それは、昼間出発して夜を徹して八十キロを歩き通すというもの。途中での実のないおしゃべりやら目にするちょっとした風景が、何故か心に残るといった、なんだか、高校時代の気分させてくれる小説。登場人物の『並んで一緒に歩く。ただそれだけなのに、どうしてこんなに特別なんだろう。』という一言にこの話は集約されているように思います。



「氷菓」 米澤穂信 / 著 (角川書店)

姉の手紙がきっかけで、必要以上のことはしないという主義の高校生、折木奉太郎にしては珍しく、古典部という部活に入部する。初めて部室に赴くと、そこには清楚という形容詞がぴったりの少女が窓際に佇んでいた。奉太郎は合鍵で部屋の鍵を開けたのだが、少女は鍵を閉めた覚えはないという…。古典部にまつわる謎を奉太郎とその友人たちが解くという学園ミステリーです。ちょっとクールでシニカルな主人公ですが、作品全体としてはユーモア色たっぷりです。

表紙画像は出版社に許諾を得て掲載しております。

図書館についてのお問い合わせは、
最寄の図書館まで！

大森図書館 …… 42 - 8686
小林図書館 …… 97 - 0005
そうふけ図書館 …… 45 - 2566
小倉台図書館 …… 47 - 5511

編集
後記

図書館に勤めて早10数年…。
はじめて「としょかんつうしん」
編集担当となりました。色々と
つたないところは多いかと思いますが今
後も宜しくお願い致します。「早く次の号
が見たい！」と思われるような「としょか
んつうしん」作りを目指してがんばりま
す！
(T・A)